

フォナックの新プラットフォーム「Belong(ビロング)」シリーズ ラインナップ追加！ 「フォナック ボレロ B、B-PR」、 「フォナック バート B-チタン」新発売

聴覚機器及びワイヤレス通信機器の世界的リーディングカンパニー フォナックが、補聴器の先駆的なリチウムイオン二次電池技術を含む次世代補聴器「Belong(ビロング)」シリーズ発売の成功から半年を経て新たなラインナップを追加します。同シリーズは、既に2016年12月に耳かけ RIC 型の AudéoB と、リチウムイオン充電式補聴器 AudéoBR を発売、市場のご好評を得て、今回耳かけ BTE 型の Bolero B、B-PR 及び、業界初、医療用チタン合金をシェルに使用した、Virto B-titanium を発売します。

フォナック・ジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:齋藤 広幸)は、新世代ハイスペックデジタルプラットフォーム「ビロング」シリーズの新製品「フォナック ボレロ B、B-PR」、
「フォナック バート B-チタン」を2017年7月12日より発売いたします。

「フォナック ボレロ B、B-PR」は耳かけ BTE 型の補聴器で、通常の空気亜鉛電池を使用する「フォナック ボレロ B」シリーズとして、使用する空気亜鉛電池のサイズに合わせた3種類の補聴器と、リチウムイオン二次電池を使用し、充電式を採用した「フォナック ボレロ B-PR」の1種類、計4種類のタイプがあります。

「フォナック オーデオ B-PR」はリチウムイオン二次電池を搭載した、業界初の24時間使用可能[※]な充電式の補聴器のラインナップ追加です。[※]フル充電の場合(80分のワイヤレス機器使用時間を含む)

「フォナック バート B-チタン」は耳あな型の補聴器で、業界初、医療用チタン合金をシェルに採用。さらに、小型化したチップ・電池ホルダーとマイクロホンとを一体化したモジュールタイプにより、これまでにない小型の耳あな型補聴器を実現。またオーダーメイドの耳あな型補聴器ではフォナック初となる IP68 の防水防塵規格を取得しています。

<フォナック ボレロ B、B-PR について>

■充電式補聴器拡充の背景と製品特徴

フォナック史上最も成功している製品の1つとなったフォナック オーデオ B-R の発売から半年。先駆的なリチウムイオン充電電池を搭載した初の耳かけ BTE 型補聴器フォナック ボレロ B-PR は、オーデオ B-R で実証された充電式のメリットを更にユーザーニーズに沿って拡充するため開発された、より高度な難聴のユーザーにも対応可能な製品です。

フォナックでは補聴器の装用者と聴覚専門家に対し、フォナックの充電式補聴器に対する満足度調査を実施しました。^{※1} この結果補聴器装用者10のうち9人が装用について非常に利点があると答え、かつフォナックの充電式補聴器の電池寿命に対して「非常に満足」と回答しました。また聴覚専門家の88%がフォナックの充電技術を同僚に勧めていることが判明しました。

またパワフルで非常に有望な充電電池として市場に急速に浸透しているリチウムイオンの技術で、RIC タイプと同様に3時間の充電で24時間の使用、たった30分の充電で6時間の使用が可能ほどの高速充電を実現。さらに、外出中の装用者が困ることのないよう、7回の完全充電が可能な持ち歩き用充電パック「パワーバック」と、職場などでの充電に適した「ミニチャージャー-BTE」を用意。既に販売されている各国でもユーザーに便利さと安心を届けています。

^{※1}: Nilsson M, Omisore D (2017). The Phonak rechargeable hearing solution: Part 2. Phonak Field Study News.
https://www.phonakpro.com/content/dam/phonakpro/gc_hq/en/resources/evidence/field_studies/documents/fsn_rechargeable_hearing_solution_part_2.pdf

■主な特長と機能: ボレロ B、B-PR

新世代 Belong(ビロング)の BTE タイプ(ボレロ V の後継器種)

- 進化したオートセンス OS 採用(サウンドリカバー2、小さな音の聞き取り改善、左右バランスの良い利得設定)
- 4 クラスのプライスレンジ

- フォナック初の BTE タイプでの**充電式タイプ拡充(ボレロ B-PR)**
- 導入するタイプは M、P、SP、PR (PR は 90、70、50 クラスのみ)
- 新デザインのハウジング採用 (マイクの音口、プログラムスイッチの形状)
- **全モデル IP68 取得**
- Binaural VoiceStream Technology TM (50 クラス以上)
- アクセサリー機器との互換性あり
- ロジャー/FM システム使用可能
- ロジャー使用時でも指向性マイクロホン作用(50 クラス以上)

■カラーラインナップ:ボレロB、B-PR(全 9 色 イメージカラー:シルバーグレー(P6))



<フォナック パート B-チタンについて>

■チタン合金採用の耳あな型補聴器開発背景と特徴

チタン合金は頑丈で耐久性に優れ、多用途で活用されかつ軽量です。生体適合性も高く、プレミアムな医療製品や高性能の乗用車、最高品質のスポーツ用品まであらゆる分野で使用されています。フォナックは最新の 3D 印刷技術により、今回このチタン合金を耳あな型補聴器のシェルに採用することで、**フォナック史上最小のオーダーメイド補聴器を実現**させました。パート B-チタンは**従来のアクリルシェルの半分=50%の薄さで作成**でき、同時にマイクロホンと電池ホルダーが一体化したモジュールの開発によって究極の目立たなさを、また **ITE でフォナック初めての IP68 の防水防塵規格を取得**したことで、ユーザーのニーズにより応えることが可能な製品となりました。

<主な特長と機能:パート B-チタン>

- 新世代 Belong(ピロング)の IIC 耳あな型タイプ
- シェルは**生体適合性の高いチタン合金製**
- 小型化された新しいハイブリッドチップ
- **マイクロホンと電池ホルダーが一体化したモジュールタイプ**
- 進化したオートセンス OS、サウンドリカバリー2、エクスパンションにより音質向上
- 2 クラスのプライスレンジ(90 / 70)
- **ITE でフォナック初の防水防塵 IP68 取得**

<カラーラインナップ:パート B-チタン>



シェル	フェースプレート
チタン製	ブラック(06)

■ 発売時期

2017 年 7 月 12 日より出荷開始

■ 認証番号

フォナック ボレロ B 229ABBZX00032000
 フォナック パート B 229ABBZX00047000

■ 製品ラインナップおよび価格

＜耳かけ型 ボレロ B＞

種別	クラス	器種名	価格(片耳)
補聴器	プレミアム(90)	フォナック ボレロ B90-M/P/SP	500,000 円
		フォナック ボレロ B90-PR	568,000 円 ^{※1}
	アドバンス(70)	フォナック ボレロ B70-M/P/SP	350,000 円
		フォナック ボレロ B70-PR	410,000 円 ^{※1}
	スタンダード(50)	フォナック ボレロ B50-M/P/SP	250,000 円
フォナック ボレロ B50-PR		308,000 円 ^{※1}	
	エッセンシャル(30)	フォナック ボレロ B30-M/P/SP	180,000 円
アクセサリ	充電器	チャージャーケース BTE	12,000 円 ^{※2}
		ミニチャージャー BTE	7,560 円 ^{※2}
		パワーパック	10,800 円 ^{※2}

※1:補聴器本体の価格＝非課税(使用にはチャージャーケースが必要です。)※2:税込価格

＜耳あな型 バート B-チタン＞

種別	クラス	器種名	価格(片耳)
補聴器	プレミアム(90)	フォナック バート B90-チタン	550,000 円
	アドバンス(70)	フォナック バート B70-チタン	390,000 円

【フォナックについて】

ソノヴァグループ傘下にあるフォナック社はスイスチューリッヒ近郊シュテファに本社を構え、2017年に創業70周年を迎えました。補聴器、ワイヤレス機器を開発し、聴覚に特化した専門技術と聴覚ケアの専門家との強い協力関係の下、製品を通じて世界中の人々の豊かな聞こえをサポートし、QOLの向上に貢献してきました。フォナックの多彩なデジタル補聴器、ワイヤレス機器は世界100カ国以上で愛用されています。補聴器の小型化、性能の分野において補聴器業界のベンチマークとして位置づけられ、フォナックは聴覚分野のリーディングカンパニーとして躍進しています。詳細は www.phonak.com または www.phonak.jp まで。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

フォナック・ジャパン株式会社 マーケティング部

フォナック・フリーコール TEL: 0120-04-4079(月～金 9:00～17:30 土日祝休み) www.phonak.jp

Phonak – Life is on

「聞こえ」に悩むすべての人の声に耳を傾け、
よりよい知識、アイデア、そして聴覚ケアをお届けする。
フォナックは、人々がそれぞれの人生において、
豊かな音を聞き取り、理解し、経験できるよう、
これからも独創的な発想でテクノロジーの限界に挑みつけ、
聞こえのバリアを感じない世界を実現するために努力します。

